

平成23年度ケアタウン構想推進モデル事業の概要

1 ケアタウン構想推進モデル事業

ケアタウン構想検討委員会からの提言を踏まえ、高齢者、障がい者、子育て家庭など支援を必要とする方々を支える仕組みづくりに向けて、各種モデル事業を推進し、その内容を検証する。

2 事業内容

(1) ケアタウン構想推進会議（200千円）

ア 趣旨 ケアタウン構想推進モデル事業の進捗状況の検証を行うとともに、ケアタウン構想の推進について必要な事項を調査・検討を加え、ケアタウン構想の実現に向けた事務事業の総合的かつ効果的な推進を図る。

イ 所掌事項

- (1) ケアタウン構想推進モデル事業の検証
- (2) ケアタウン構想の推進に係る調査及び検討
- (3) 地域福祉の推進に係る重要事項の調査及び検討（地域福祉計画の改定）

ウ 構成員 ケアタウン構想検討委員会のメンバー（予定）

エ 開催回数 年4回

(2) 5地区におけるモデル事業（500千円）

ア 目的 高齢者、障がい者、子育て家庭などが抱える課題について地域の事情、特性等に応じてテーマを設定し、身近な場所における相談・交流の場づくりやその担い手の確保の方策を検討する。

イ 事業期間 平成22年度～平成23年度

ウ 地区モデル事業の概要

①東富水地区（主体：社会福祉法人小田原福祉会）

テーマ 支援が必要な高齢者等を地域で支える体制づくり

- 24時間365日対応型相談窓口
- 常設拠点を中心とした介護保険外サービス

②早川地区（主体：早川地区社会福祉協議会）

テーマ 高齢者の見守り体制の強化

- 地域の福祉関係団体、機関等による地域ケアタウン会議の開催

③山王網一色地区（主体：山王網一色地区社会福祉協議会）

テーマ 障がい者と地域住民とのふれあい活動

- 障がい者サポートセンターを拠点に、地域住民を対象とした障がい体験や障がい者との懇談会の開催

④上府中地区（主体：上府中地区社会福祉協議会）

テーマ 地域住民による子育てサロン活動

- 上府中子育てサロン開設（永塚公民館、毎月第2・第4火曜日）

⑤下府中地区（主体：下府中地区社会福祉協議会）

テーマ 地域の居場所づくり（相談・交流の場のあり方の検討）

- 川東タウンセンターマロニエにおいて地域主体の相談・交流の場を開設

(3) 生活応援隊（生活支援ボランティア）事業（500千円）

ア 目的 高齢者、障がい者等の身近な生活課題を解決するため、社会福祉協議会のボランティアセンターや地区社会福祉協議会を中心に、ゴミ出し、買い物、草むしりなどの生活支援サービスを提供するとともに、地域福祉の新たな担い手を掘り起こす。

イ 事業イメージ

